

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	林道改良事業(補助) (赤石線)	会計	一般会計	事業No.	418	施策順No.	11-024	
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-2-2-21-1			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	林務課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	19	終了	25

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	林道の未改良部分						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		地域再生計画・林道改良計画延長(m)	269	269	269	750	750	
	意図	林道を改良することにより、通行の安全を必要最小限の範囲で確保する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	地域再生計画・改良実施延長(累計)/林道改良計画延長(m)=% H21まで253m、253/269=0.941、H22は204m、204/750=0.272	29.4	66.5	94.1	20	27.2	40	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	目標に対し十分な成果が図られた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	林道赤石線(昭和61年開通12,999m)の林道改良工事(橋梁塗装、崩落や落石防止のための法面改良、ガードレールなどの安全施設等整備)を施工することにより、(森林整備の推進や木材搬出の輸送力向上、)通行車両の安全確保を図る。特に通行に支障があり、緊急に対応しなければならない箇所について実施する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	林道改良工事 赤石線 (法面改良)	施工延長 幅員	L=214m W=4.0m
23年度実施計画	林道改良工事 赤石線 (法面改良)	施工延長 幅員	L=200m W=4.0m

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)民有林林道改良事業補助金(国1/2、県1/100) (地)過疎対策(充当率100%)
		県支出金	13,280	13,280	13,387	
		起債	14,700	14,700	14,800	
		その他				
		一般財源	57	57	1	
		計(A)	28,037	28,037	28,188	
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			0		
	トータルコスト A+B		28,037			

4 事業に対する市民や議会の意見

林道であるが住民の生活道路及び観光道路であるため、市民や森林所有者及び観光客からも安全確保を求める要望が強い。
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする		施策の成果指標又はムトス指標	林業生産額(億円)
					経済的自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	4年間の施工延長L=457m改良工事を行い、通行車両の安全を確保し、木材搬出の輸送力が向上した。			
	後期に向けた課題	未改良区間も多く、引き続き進める必要がある。			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	全延長の中で危険の高い部分(過去に事故の起きた地点)を優先的に実施した。			
	後期に向けた課題	中央構造線の破砕帯と思われる脆弱な部分が多く、崩落による事業期間の延長が懸念される。			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法検討によりコスト削減を図った。			
	後期に向けた課題	工法検討や効率的な事業実施により、コスト削減を図る。			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	林道の改良であり、林道管理者として林道改良事業を行った。			
	後期に向けた課題	林道の改良であり、引き続き林道管理者として関与する。			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①林道の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。 ②林道の管理者としての安全確保や木材搬出の効率化。			
	後期に向けた課題	①林道の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。 ②林道の管理者としての安全確保や木材搬出の効率化。			
全体を通じて	4年間の振り返り	改良が出来た箇所については、通行車両の安全確保及び木材輸送能力を向上させる事が出来た。			
	後期に向けた課題	未改良区間が多数あるため、効率的に事業を進める必要がある。			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------